

a.) 単 著

1. 小山剛『「憲法上の権利」の作法』(尚学社、新版 2011 年 9 月〈初版 2009 年 3 月〉)
2. 小山剛『基本権の内容形成——立法による憲法価値の実現』(尚学社、2004 年 12 月)
3. 小山剛『基本権保護の法理』(成文堂、1998 年 10 月)

b.) 共 編 著

1. 小山剛=駒村圭吾編『論点探究 憲法』(弘文堂、第 2 版 2013 年 6 月〈初版 2005 年 7 月〉)
2. 小山剛=玉井真理子『子どもの医療と法』(尚学社、第 2 版 2012 年 3 月〈初版 2008 年 7 月〉)
3. 川崎政司=小山剛編『判例から学ぶ憲法・行政法』(法学書院、第 3 版 2011 年 4 月〈初版 2007 年 4 月〉)
4. 棟居快行=工藤達朗=小山剛編集代表『プロセス演習 憲法』(信山社、第 4 版 2011 年 3 月〈初版 2004 年 4 月〉)
5. 安念潤司=小山剛=青井未帆=宍戸常寿=山本龍彦編著『論点 日本国憲法——憲法を学ぶための基礎知識』(東京法令出版、2010 年 9 月)
6. 大沢秀介=小山剛編『自由と安全——各国の理論と実務』(尚学社、2009 年 8 月)
7. 小山剛=新井誠=山本龍彦編『憲法のレシピ』(尚学社、2007 年 4 月)
8. 大沢秀介=小山剛編『東アジアにおけるアメリカ憲法——憲法裁判の影響を中心に(慶応義塾大学東アジア研究所叢書)』(慶応義塾大学出版会、2006 年 9 月)
9. 大沢秀介=小山剛編『市民生活の自由と安全——各国のテロ対策法制』(成文堂、2006 年 4 月)
10. 井上典之=山元一=小山剛編『憲法学説に聞く』(日本評論社、2004 年 5 月)

c.) 翻 訳 書

1. ライナー・ヴァール(小山剛監訳)『憲法の優位』(慶応義塾大学出版会、2012 年 11 月)
2. クラウス・シュテルン(赤坂正浩=片山智彦=川俣伸彦=小山剛=高田篤編訳)『シュテルン ドイツ憲法 I 総論・統治編』(信山社、2009 年 9 月)

d.) 論 文

1. 小山剛「間接的ないし事実上の基本権制約」中央大学法学新報 120 巻 1=2 号(2013 年 7 月) 155-176 頁
2. 小山剛「田村警察行政法学——憲法学の視点から」大沢秀介=佐久間修=荻野徹編『社会の安全と法』(立花書房、2013 年 6 月) 21-33 頁
3. 小山剛「国家目的と国家目標規定」小山剛=駒村圭吾編『論点探究 憲法〔第 2 版〕』(弘文堂、2013 年 6 月) 13-21 頁
4. 小山剛「権利の保障と制度の保障」小山剛=駒村圭吾編『論点探究 憲法〔第 2 版〕』(弘文堂、2013 年 6 月) 46-55 頁
5. 小山剛「経済的自由の限界」小山剛=駒村圭吾編『論点探究 憲法〔第 2 版〕』(弘文堂、2013 年 6 月) 214-223 頁
6. 小山剛「地方自治の本旨」小山剛=駒村圭吾編『論点探究 憲法〔第 2 版〕』(弘文堂、2013 年 6 月) 373-384 頁
7. 小山剛「米びつと震災——憲法学からの一考察」自治研究 89 巻 2 号(2013 年 2 月) 3-17 頁
8. 小山剛『「社会国家」と憲法解釈』小谷順子=新井誠=山本龍彦=葛西まゆこ=大林啓吾編『現代アメリカの司法と憲法——理論的対話の試み』(尚学社、2013 年 1 月) 176-188 頁
9. 小山剛「最高裁判所は変わったか?〈2011 年憲法記念講演会〉」憲法問題 23 号(2012 年 5 月) 135-144 頁

10. 小山剛「単純個人情報の憲法上の保護〔住基ネット訴訟〕(特集 憲法最高裁判例を読み直す)」論究ジュリスト1号(2012年5月)118-124頁
11. 小山剛「震災と基本権保護義務(特集 法律学のできること——東日本大震災を契機に考える)」法学教室372号(2011年9月)4-6頁
12. 小山剛「震災と財産権(特集 東日本大震災——法と対策)」ジュリスト1427号(2011年8月)65-71頁
13. 小山剛「違憲審査論の現在——特集のはじめに(特集 違憲審査手法の展望)」法律時報83巻5号(2011年5月)4-5頁
14. 小山剛『『安全』と情報自己決定権』辻村みよ子=長谷部恭男編『憲法理論の再創造』(日本評論社、2011年3月)381-394頁
15. 小山剛「生存権の『制度後退禁止』?」慶應法学19号(2011年3月)97-115頁
16. 小山剛「憲法は私法をどこまで縛るのか——憲法の優位と私法の独自性〈GCOE 全体研究会〉」新世代法政策学研究(北海道大学)11号(2011年3月)23-41頁
17. 小山剛「基本権保護義務論と国際人権規範(特集 国際人権法と人権の国際スタンダード)」国際人権法学会報22号(2011年)41-48頁
18. 小山剛「憲法上の権利か『自然権』か(特集 憲法理論の継承と展開——高橋和之憲法学との対話)」法律時報82巻5号(2010年5月)56-58頁
19. 小山剛『『安全』と情報自己決定権(憲法理論の再創造19——第4部:新しい憲法問題・理論の展望5)』法律時報82巻2号(2010年2月)99-105頁
20. 小山剛「„im Rahmen des Rechtsstaates“ ——『法治国家の枠内において』大沢秀介=小山剛編『自由と安全——各国の理論と実務』(尚学社、2009年8月)227-237頁
21. 小山剛「民法学からの問題提起と憲法学からの応答——基本権の内容形成論からの応答(特集 憲法学に問う)」法律時報81巻5号(2009年5月)9-15頁
22. 小山剛『『私人間効力』を論ずることの意義』法学研究(慶應義塾大学)82巻1号(2009年1月)197-210頁
23. 小山剛「憲法学上の概念としての『安全』」慶應義塾大学法学部編『慶應の法律学 公法I——慶應義塾創立150年記念法学部論文集』(慶應義塾大学出版会、2008年12月)325-359頁
24. 小山剛「基本権保護義務論『憲法の争点〔新・法律学の争点シリーズ3〕』(有斐閣、2008年12月)86-87頁
25. 小山剛「国家の基本権保護義務論争 国家の基本権保護義務〈第1回ミニ・シンポジウム〉」憲法理論研究会編『憲法変動と改憲論の諸相(憲法理論叢書16)』(敬文堂、2008年10月)145-146頁
26. 小山剛「監視国家と法治国家(特集 国家は撤退したか?——『規制緩和』と『リスク社会』)」ジュリスト1356号(2008年5月)48-56頁
27. 小山剛「陰画としての国家」法学研究(慶應義塾大学)80巻12号(2007年12月)143-172頁
28. 小山剛「ドイツの憲法変動——9.11の前と後」憲法理論研究会編著『憲法の変動と改憲問題(憲法理論叢書15)』(敬文堂、2007年10月)113-125頁
29. 小山剛「人権と制度」『岩波講座 憲法2——人権論の新展開』(岩波書店、2007年9月)49-77頁
30. 小山剛『『新しい人権』の議論が低調だった理由——求められる憲法観についての自覚的な議論と選択(憲法とジャーナリズム(1))』新聞研究673号(2007年8月)18-21頁
31. 小山剛「法治国家における自由と安全」村上武則=高橋明男=松本和彦編『法治国家の展開と現代的構成——高田敏先生古稀記念論集』(法律文化社、2007年2月)24-41頁[2007年2月]
32. 小山剛「自由・テロ・安全——警察の情報活動と情報自己決定権を例に」大沢秀介=小山剛編『市民生活の自由と安全——各国のテロ対策法制』(成文堂、2006年3月)305-350頁
33. 小山剛「自由と安全——若干の憲法学的考察(警察政策フォーラム 市民生活の自由と安全——各国のテロリズム対策法制の現状と課題)」警察学論集58巻6号(2005年6月)79-87頁
34. 小山剛「日本におけるドイツ基本権論」日本台湾法律家協会雑誌5号(2005年10月)69-83頁
35. 小山剛「自己情報コントロール権(特集 個人情報保護法)」月報司法書士402(2005年8月)26-31頁
36. 小山剛「基本権の私人間効力・再論」法学研究(慶應義塾大学)78巻5号(2005年5月)39-81頁
37. 小山剛「新しい人権(特集 憲法改正論議の現在)」ジュリスト1289号(2005年5月)95-103頁
38. 小山剛「国家の基本権保護義務」芹田健太郎=棟居快行=薬師寺公夫=坂元茂樹編『国際人権法と憲法〔講座国際人権法1〕』(信山社、2007年7月)223-253頁

39. 小山剛『『監視社会』の基本権問題』法律時報編集部編『新たな監視社会と市民的自由の現在——国公法・社会保険事務所職員事件を考える〔法律時報増刊〕』（日本評論社、2006年10月）7-11頁
40. 小山剛「公法学の教育素材（公法学教育と大学）」公法研究 68号（2006年10月）81-99頁
41. 小山剛「財産権の保障」大沢秀介・小山剛編『東アジアにおけるアメリカ憲法——憲法裁判の影響を中心に（慶応義塾大学東アジア研究所叢書）』（慶応義塾大学出版会、2006年9月）375-397頁
42. 小山剛『『戦略的監視』と情報自己決定権——BVerfGE 100, 313を中心に』法学研究（慶応義塾大学）79巻6号（2006年6月）1-49頁
43. 小山剛「財産権の内容形成」寺田友子編『現代の行政紛争——小高剛先生古稀祝賀』（成文堂、2005年1月）303-321頁
44. 小山剛「市民生活における自由と安全（特集 日本国憲法）」現代思想 32巻12号（2004年10月）116-120頁
45. 小山剛「生存権——生活保護基準額の見直し（特集 憲法学習のキーワード）」法学セミナー49巻5号（2004年4月）22-24頁
46. 小山剛「表現の自由の保護領域——基本権の区分に関する一考察」法学研究（慶応義塾大学）77巻2号（2004年2月）1-31頁
47. 小山剛「基本権の内容形成——概念と類型」樋口陽一＝上村貞美＝戸波江二編『日独憲法学の創造力——栗城壽夫先生古稀記念〔上〕』（信山社、2003年10月）153-192頁
48. 小山剛「人権擁護立法の意義と課題（特集 日本における立憲主義——その現状と理論）」憲法問題 14号（2003年5月）51-64頁
49. 小山剛「私的自治と人権（特集 人権論の原理と新展開）」ジュリスト 1244号（2003年5月）83-90頁
50. 小山剛「ドイツにおける国民保護法制（特集 「国民保護法制」検討の視座）」法律時報 74巻12号（2002年11月）20-24頁
51. 小山剛「立法政策と基本権保護義務」桜井雅夫編『EU法・ヨーロッパ法の諸問題——石川明教授古稀記念論文集』（信山社、2002年9月）231-250頁
52. 小山剛「基本権的自由と法制度——峻別思考と非分別思考のはざままで」名城法学 50巻別冊（2000年12月）81-110頁
53. 小山剛「取材源の秘匿——取材源秘匿権と憲法 21条（特集 メディアと憲法——表現の自由の意味と価値を考える）」法学教室 236号（2000年5月）18-21頁
54. 小山剛「震災と国家の責務（シンポジウム 災害と公法）」公法研究 61号（1999年10月）196-205頁
55. 小山剛「私人間における権利の保障」『憲法の争点（第3版）〔ジュリスト増刊 法律学の争点シリーズ2〕』（1999年6月）54-57頁
56. 小山剛「基本法下におけるドイツ基本権論の展開」比較憲法学研究 10号（1998年10月）33-48頁
57. 小山剛「基本権保護と自己決定」名城法学 47号1巻（1997年6月）21-66頁
58. 小山剛「震災による財産被害と個人補償（特集 おかしいぞ！通説憲法——「個人の尊重」から再点検）」法学セミナー503号（1996年11月）66-69頁
59. 小山剛「制度的基本権理論その後（特集 日本国憲法 50年の軌跡と展望）」ジュリスト 1089号（1996年5月）65-69頁
60. 小山剛「基本権保障における過少保護禁止の原則」法学研究（慶応義塾大学）68巻12号（1995年12月）527-551頁
61. 小山剛「契約自由と基本権」名城法学 45号2巻（1995年11月）57-89頁
62. 小山剛「国の『基本権保護義務』」憲法理論研究会編『人権保障と現代国家（憲法理論叢書 3）』敬文堂（1995年10月）37-49頁
63. 小山剛「一般的行為自由説をめぐる諸問題」比較憲法学会編『法と正義：田上穰治博士追悼論文集』（1993年）673-688頁
64. 小山剛「妊娠中絶立法と基本権（胎児生命）保護義務——ドイツ「妊婦及び家族扶助法」をめぐる憲法論を素材に」名城法学 43号1・2巻（1993年9月）137-183頁
65. 小山剛「私法関係における基本権の保護——基本権の私人間効力と国の保護義務」法学研究 65巻8号（1992年8月）23-82頁

66. 小山剛「基本権の客観法的側面をめぐる諸問題——ドイツの判例・学説を中心に」比較法研究 53 号（1991 年 12 月）152-157 頁
67. 小山剛「夫婦の氏と憲法——ドイツ連邦憲法裁判所 1991 年 3 月 5 日決定を中心に」愛知県立大学文学部論集 一般教育編 40 号（1991 年）77-97 頁
68. 小山剛「西ドイツにおける国の基本権保護義務」法学研究（慶應義塾大学）63 号 7 卷（1990 年 7 月）54-78 項
69. 小山剛「ドイツ基本権解釈論における国の保護義務——社会権・防禦権と保護義務」法学政治学論究（慶應義塾大学）7 号（1990 年 12 月）41-78 頁
70. 小山剛「基本権の機能の拡充の可能性——ドイツにおける議論を素材として」慶應義塾大学大学院法学研究科 論文集 25 号（1987 年 3 月）217-236 頁

e.) 判例評釈

1. 小山剛「職業の自由と規制目的——薬事法違憲判決・西陣ネクタイ事件」棟居快行＝工藤達朗＝小山剛編集代表『プロセス演習 憲法〔第 4 版〕』（信山社、2011 年 4 月）256-272 頁
2. 小山剛「生存権の法的性格——堀木訴訟・塩見訴訟」棟居快行＝工藤達朗＝小山剛編集代表『プロセス演習 憲法〔第 4 版〕』（信山社、2011 年 4 月）368-388 頁
3. 小山剛「基本的人権の享有主体・特別な法律関係における基本的人権・私人相互間における基本的人権」佐藤幸治＝土井真一編『判例講義 憲法 I 基本的人権』（悠々社、2010 年 4 月）1-13 頁；16-19 頁
4. 小山剛「トーク・ショーにおける風刺的表現（NJW 1998, 1386）」ドイツ憲法判例研究会編『ドイツの憲法判例 III』（信山社、2008 年 10 月）148-152 頁
5. 小山剛「商業的影響のある表現：経済的損失をもたらす研究発表に対する不正競争防止法による規制——ヘルテル判決（Hertel v. Switzerland）[1998]」戸波江二＝北村泰三＝建石真公子＝小畑郁＝江島晶子編『ヨーロッパ人権裁判所の判例』（信山社、2008 年 9 月）400-404 頁
6. 小山剛「私法関係と基本的人権——三菱樹脂事件（昭和 48 年 12 月 12 日最大判）」『憲法判例百選 I〔第 5 版〕』（有斐閣、2007 年 2 月）26-27 頁 [2007 年 2 月]
7. 小山剛「第 2 次墮胎判決（BVerfGE 88, 203）」ドイツ憲法判例研究会編『ドイツの憲法判例 II〔第 2 版〕』（信山社、2006 年 5 月）61-66 頁
8. 小山剛「意見表明の自由と集団の名誉——『兵士は殺人者だ』事件（BVerfGE 93, 266）」ドイツ憲法判例研究会編『ドイツの憲法判例 II〔第 2 版〕』（信山社、2006 年 5 月）168-173 頁
9. 小山剛「放送による犯罪報道と人格権——レーバツハ判決（BVerfGE 35, 202）」ドイツ憲法判例研究会編『ドイツの憲法判例〔第 2 版〕』（信山社、2003 年 12 月）183-189 頁
10. 小山剛「農作物共済当然加入制と職業の自由（平成 17 年 4 月 26 日最三小判）」『平成 17 年度重要判例解説〔ジュリスト臨時増刊 1313〕』所収（有斐閣、2006 年 6 月）21-22 頁
11. 小山剛「取材ビデオテープの押収と取材の自由（2）——TBS 事件（平成 2 年 7 月 9 日最二小決）」『メディア判例百選』（有斐閣、2005 年 12 月）18-19 頁
12. 小山剛「ハンセン病国家賠償訴訟熊本地裁判決（平成 13 年 5 月 11 日熊本地判）（判例批評）」ジュリスト 1210 号（2001 年 10 月）152-156 頁
13. 小山剛「私法関係と基本的人権——三菱樹脂事件（昭和 48 年 12 月 12 日最大判）」『憲法判例百選 I〔第 4 版〕』（有斐閣、2000 年 9 月）24-25 頁
14. 小山剛「トーク・ショーにおける風刺的表現（BVerfG, 1. Kammer des Ersten Senats, Beschl. v. 12.11. 1997, NJW 1998, 1386 ff.（ドイツ憲法判例研究 79）」自治研究 75 卷 10 号（1999 年 10 月）112-118 頁
15. 小山剛「シベリア長期抑留による損害と国家補償（平成 9 年 3 月 13 日最一小判）」『平成 9 年度重要判例解説〔ジュリスト臨時増刊 1135 号〕』（有斐閣、1998 年 6 月）16-17 頁
16. 小山剛「中部電力思想差別訴訟（平成 8 年 3 月 13 日名古屋地判）（特集 憲法訴訟の現在と未来）」法学セミナー 521 号（1998 年）64-66 頁 [1998 年 5 月]
17. 小山剛「〈判例雑感〉集団の名誉？ 第二次『兵士は殺人者だ』事件（ドイツ連邦憲法裁判所破棄差戻し判決 1995.10.10 決定）」国会月報 44 卷 4 号（1997 年 4 月）54-55 頁
18. 小山剛「第二次『兵士は殺人者だ』事件（1995 年 10 月 10 日ドイツ連邦憲法裁判所第一法廷決定）（ドイツ憲

法判例研究 49) 自治研究 73 卷 1 号 (1997 年 1 月) 122-131 頁

19. 小山剛「刑法の堕胎罪規定を改正した妊婦及び家族扶助法の合憲性 (第二次堕胎判決) (1993.5.28 連邦憲法裁判所第一法廷判決) (ドイツ憲法判例研究 16)」自治研究 70 卷 4 号 (1994 年 4 月) 127-136 頁
20. 小山剛「連邦憲法裁判所第 2 次堕胎判決における保護義務論の展開 — 1 — [含 資料]」名城法学 43 号 3 卷 (1993 年 12 月) 85-123 頁

f.) 翻 訳

1. クラウス・シュテルン (小山剛訳)「基本権の保護機能——ある法学的発見 (クラウス・シュテルン客員来日記念シンポジウム講演)」日本學士院紀要 64 卷 3 号 (2010 年 3 月) 278-267 頁
2. ペーター・J・テッティンガー (小山剛訳)「安全の中の自由」警察学論集 55 卷 11 号 (2002 年 11 月) 144-162 頁
3. ヨーゼフ・イーゼンゼー (小山剛訳)「契約自由と基本権——憲法を規準とした契約の内容統制 (特別講演)」名城法学 50 卷 3・4 号 (2001 年 3 月) 1-27 頁
4. ライナー・ヴァール (小山剛=中野雅紀訳)「〈基調報告〉日本とドイツの比較憲法」ドイツ憲法判例研究会編『人間・科学技術・環境——日独共同研究シンポジウム』(信山社、1999 年 8 月) 11-41 頁
5. クリティアン・シュタルク (小山剛訳)「基本権保護義務」名城法学 49 卷 1 号 (1999 年 6 月) 185-224 頁
6. ヨアヒム・ブアマイスター (小山剛訳)「〈特別講演〉立法者および専門裁判所に対する連邦憲法裁判所の審査権の限界」名城法学 47 卷 1 号 (1997 年 6 月) 1-20 頁
7. エルンスト・ヴォルフガング・ベッケンフェルデ (小山剛訳)「〈特別講演〉ドイツおよびヨーロッパにおける憲法の歴史的発展と意味変化」名城法学 46 卷 4 号 (1997 年 2 月) 1-24 頁
8. クラウス・シュテルン (小山剛訳)「〈特別講演〉ドイツにおける憲法裁判制度」名城法学 46 卷 3 号 (1997 年 2 月) 1-34 頁
9. クラウス・シュテルン (小山剛訳)「過度の侵害禁止 (比例原則) と衡量命令—2・完—」名城法学 44 卷 3 号 (1995 年 2 月) 125-184 頁
10. ライナー・ヴァール (小山剛=吉村良一訳)「環境保護と憲法—国家の統制による予防か民事責任法による予防か」立命館法學 237 号 (1995 年 1 月) 176-204 頁
11. クラウス・シュテルン (小山剛訳)「過度の侵害禁止 (比例原則) と衡量命令—1—」名城法学 44 卷 2 号 (1994 年 10 月) 153-199 頁
12. ロベルト・アレクシー (小山剛訳)「主観的権利及び客観規範としての基本権—2・完—」名城法学 44 卷 1 号 (1994 年 7 月) 321-341 頁
13. ロベルト・アレクシー (小山剛訳)「主観的権利及び客観規範としての基本権—1—」名城法学 43 号 4 卷 (1994 年 2 月) 179-193 頁
14. マルティン・クリーレ (井田良=小山剛訳)「裁判官の法発見における法律への忠実と正義」法学研究 (慶應義塾大学) 63 卷 3 号 (1990 年 3 月) 89-110 頁
15. ガボア・ハルマイ (高田篤=小山剛訳)「ハンガリー現行憲法と『新憲法』の構成原理」ジュリスト 946 号 (1989 年 2 月) 63-69 頁

g.) そ の 他

1. 新井誠=岡田順太=柳瀬昇=岩切大地=横大道聡=小山剛「憲法」『判例回顧と展望 2011 [法律時報 6 月臨時増刊]』(日本評論社・2012 年) 3-24 頁 [2012 年 6 月]
2. 小山剛「木村草太著『憲法の急所——権利論を組み立てる』——棋譜で学ぶ実践憲法 (LIBRARY)」法学セミナー 56 卷 12 号 (2011 年 12 月) 131 頁
3. 小山剛「第 3 章 国民の権利及び義務 総説」芹沢斉=市川正人=阪口正二郎編『新基本法コンメンタール (別冊法学セミナー)』(日本評論社、2011 年 10 月) 69-89 頁
4. 三宅弘=小山剛=中林暁生=榊原秀訓「公法系科目試験問題 (特集 新司法試験問題の検討 2011)」法学セミナー 56 卷 8・9 号 (2011 年 8・9 月) 30-42 頁

5. 小山剛「憲法の学び方と論じ方（特集 一行問題と事例問題——法律基本科目の学び方と論じ方）」法学セミナー56巻6号（2011年6月）2-11頁
6. 新井誠＝上村都＝岡田順太＝大林啓吾＝横大道聡＝小山剛「憲法」『判例回顧と展望 2010〔法律時報5月臨時増刊〕』（日本評論社、2011年5月）3-24頁
7. 小山剛＝2010年新司法試験合格者「法科大学院の学内試験を考える——教員と学生，それぞれの観点から（特集 検証法科大学院の新たな論点）（法科大学院の論点3）」法学セミナー55巻12号（2010年12月）29-32頁
8. 斎藤浩＝小山剛＝中林暁生＝榊原秀訓「公法系科目試験問題（特集 新司法試験問題の検討 2010）」法学セミナー55巻8号（2010年8月）32-45頁
9. 小山剛＝上村都＝新井誠＝葛西まゆこ＝大林啓吾＝横大道聡「憲法」『判例回顧と展望 2009〔法律時報5月臨時増刊〕』（日本評論社、2010年5月）3-21頁
10. 杉原泰雄＝山元一＝小山剛＝工藤達朗＝石村修＝蟻川恒正＝「国家と憲法」研究会「討論（特集 憲法理論の継承と展開——杉原泰雄憲法学との対話）」法律時報82巻5号（2010年5月）14-18頁
11. 樋口陽一＝工藤達朗＝山元一＝小山剛＝栗城壽夫＝石村修＝蟻川恒正＝「国家と憲法」研究会「討論（特集 憲法理論の継承と展開——樋口陽一憲法学との対話）」法律時報82巻5号（2010年5月）29-34頁
12. 佐藤幸治＝蟻川恒正＝山元一＝岩間昭道＝工藤達朗＝小山剛＝「国家と憲法」研究会「討論（特集 憲法理論の継承と展開——佐藤幸治憲法学との対話）」法律時報82巻5号（2010年5月）49-55頁
13. 高橋和之＝小山剛＝工藤達朗＝新井誠＝山元一＝山本龍彦＝蟻川恒正＝「国家と憲法」研究会「討論（特集 憲法理論の継承と展開——高橋和之憲法学との対話）」法律時報82巻5号（2010年5月）65-70頁
14. 金山泰介＝大沢秀介＝小山剛ほか「パネルディスカッション（警察政策フォーラム 自由と安全——テロ対策の理論と実務の架橋）」警察政策研究14号（2010年）151-163頁
15. 斎藤浩＝小山剛＝宍戸常寿＝角松生史「公法系科目試験問題（特集 新司法試験問題の検討 2009）」法学セミナー54巻8号（2009年8月）36-51頁
16. 小山剛＝小谷順子＝新井誠＝山本龍彦＝葛西まゆこ＝大林啓吾「憲法」『判例回顧と展望 2008〔法律時報6月臨時増刊〕』（日本評論社、2009年6月）3-21頁
17. 小山剛「憲法の季節〈巻頭言〉」受験新報59巻6号（2009年6月）5頁
18. 山野目章夫＝小山剛「〈対談〉民法学からの問題提起と憲法学からの応答——憲法学と民法学の対話（特集 憲法学に問う）」法律時報81巻5号（2009年5月）15-23頁
19. 小山剛「企画の趣旨——Quo Vadis 法科大学院教育（特集 法的分析アプローチの探究）」法学セミナー53巻11号（2008年11月）11-12頁
20. 小山剛＝小谷順子＝新井誠＝山本龍彦＝葛西まゆこ「憲法」『判例回顧と展望 2007〔法律時報6月臨時増刊〕』（日本評論社、2008年6月）3-21頁
21. 田村正博＝大沢秀介＝小山剛ほか「パネルディスカッション（兼質疑応答）（警察政策フォーラム 市民生活の自由と安全・理論と実務の架橋）」警察政策研究12号（2008年）200-221頁
22. 小林武＝小山剛「季研究集会シンポジウムのまとめ（特集 〈全国憲40年〉憲法理論の課題）」憲法問題17号（2006年5月）55-61頁
23. 小山剛「〈書評〉高橋和之著『立憲主義と日本国憲法』 書齋の窓553号（2006年4月）51-55頁
24. 小山剛「69条 衆議院の内閣不信任と解散または総辞職」小林孝輔＝芹沢斉編『基本法コンメンタール〔第5版〕（別冊法学セミナー）』（日本評論社、2006年3月）328-333頁
25. 小山剛「70条 内閣総理大臣の欠缺一、新国会の召集と内閣総辞職」小林孝輔＝芹沢斉編『基本法コンメンタール〔第5版〕（別冊法学セミナー）』（日本評論社、2006年3月）333-334頁
26. 小山剛「71条 総辞職後の内閣の職務の執行」小林孝輔＝芹沢斉編『基本法コンメンタール〔第5版〕（別冊法学セミナー）』（日本評論社、2006年3月）334-335頁
27. 小山剛「法科大学院で学ぶ憲法第9条（特集 憲法『改正』動向をどう受け止めるか）法学セミナー50巻12号（2005年12月）24-27頁
28. 小山剛「制度的保障（特集 法学入門——法律学の「言葉」）」法学セミナー50巻5号（2005年5月）16-17頁
29. 小山剛＝葛西まゆこ「年金改革関連法と憲法（ロー・ジャーナル）」法学セミナー49巻10号（2004年10月）68-71頁

30. 戸波江二＝小山剛「第 1 講 幸福追求権と自己決定権」井上典之＝山元一＝小山剛編『憲法学説に聞く』（日本評論社、2004 年 5 月）7-23 頁
31. 初宿正典＝小山剛「第 6 講 憲法 21 条が保障する権利」井上典之＝山元一＝小山剛編『憲法学説に聞く』（日本評論社、2004 年 5 月）96-112 頁
32. 棟居快行＝小山剛「第 7 講 経済的自由権と規制二分論」井上典之＝山元一＝小山剛編『憲法学説に聞く』（日本評論社、2004 年 5 月）113-129 頁
33. 内野正幸＝小山剛「第 8 講 社会権の保障」井上典之＝山元一＝小山剛編『憲法学説に聞く』（日本評論社、2004 年 5 月）130-144 頁
34. 岩間昭道＝小山剛「第 14 講 憲法の変遷と改正」井上典之＝山元一＝小山剛編『憲法学説に聞く』（日本評論社、2004 年 5 月）240-252 頁
35. 井上典之＝小山剛＝山元一「第 16 講 憲法の学び方」井上典之＝山元一＝小山剛編『憲法学説に聞く』（日本評論社、2004 年 5 月）270-285 頁
36. 小山剛「演習 憲法 2——参議院の議員定数不均衡」法学教室 282 号（2004 年 3 月）115 頁
37. 小山剛「演習 憲法 2——実体的評価規範（憲法）と救済規範（国賠法 1 条）とのズレ」法学教室 281 号（2004 年 2 月）153 頁
38. 小山剛「演習 憲法 2——選挙権と選挙制度の区別」法学教室 280 号（2004 年 1 月）119 頁
39. 小山剛「演習 憲法 2——地域自治会の性格」法学教室 279 号（2003 年 12 月）135 頁
40. 小山剛「演習 憲法 2——定住外国人の公務就任権」法学教室 278 号（2003 年 11 月）125 頁
41. 小山剛「演習 憲法 2——規制目的二分論の意義と射程」法学教室 277 号（2003 年 10 月）107 頁
42. 小山剛「演習 憲法 2——名誉棄損的表現に対するプロバイダーの関与」法学教室 276 号（2003 年 9 月）97 頁
43. 初宿正典＝小山剛「憲法 21 条が保障する権利（憲法学説に聞く——ロースクール・憲法講義 14）」法学セミナー48 巻 8 号（2003 年 8 月）102-109 頁
44. 小山剛「演習 憲法 2——一般的自由説と人格的自由説」法学教室 275 号（2003 年 8 月）120-121 頁
45. 小山剛「演習 憲法 2——『時の経過』の意味」法学教室 274 号（2003 年 7 月）121 頁
46. 小山剛「演習 憲法 2——自己情報コントロール権とプライバシー（侵害）三要件」法学教室 273 号（2003 年 6 月）120-121 頁
47. 内野正幸＝小山剛「社会権の保障（憲法学説に聞く（11）——ロースクール・憲法講義）」法学セミナー48 巻 5 号（2003 年 5 月）104-110 頁
48. 小山剛「演習 憲法 2——抽象的権利と制度的保障」法学教室 272 号（2003 年 5 月）120-121 頁
49. 小山剛「演習 憲法 2——抽象的権利と具体的権利」法学教室 271 号（2003 年 4 月）130-131 頁
50. 棟居快行＝小山剛「経済的自由権と規制（特集 憲法学説に聞く（3）——ロースクール・憲法講義）」法学セミナー48 巻 3 号（2003 年 3 月）44-51 頁
51. 岩間昭道＝小山剛「憲法の保障と変動（特集 憲法学説に聞く（2）——ロースクール・憲法講義）」法学セミナー47 巻 9 号（2002 年 9 月）53-58 頁
52. 戸波江二＝小山剛「幸福追求権と自己決定権（特集 憲法学説に聞く——ロースクール・憲法講義）」法学セミナー47 巻 4 号（2002 年 4 月）28-34 頁
53. 小山剛＝赤松秀岳「ドイツ法（特集 2001 年学界回顧）」法律時報 72 巻 13 号（2001 年 12 月）238-247 頁
54. 小山剛「〈書評〉松本和彦『基本権保障の憲法理論』（大阪大学出版会、2001 年）」憲法理論研究会編『立憲主義とデモクラシー（憲法理論叢書 9）』（敬文堂、2001 年 10 月）261-264 頁
55. 小山剛＝赤松秀岳「ドイツ法（特集 2000 年学界回顧）」法律時報 73 巻 13 号（2000 年 12 月）228-235 頁
56. 小山剛「〈法教 Bookshelf〉大石眞著『憲法史と憲法解釈』」法学教室 247 号（2001 年 4 月）71 頁
57. 小山剛＝北居功「ドイツ法（特集 1999 年学界回顧）」法律時報 71 巻 13 号（1999 年 12 月）206-213 頁

h.) (編) 著作 に対する 書 評

1. 山本龍彦「三段階審査・制度準拠審査の可能性——小山剛著『「憲法上の権利」の作法』を読む」法律時報 82 巻 10 号（2010 年 9 月）101-106 頁
2. 徳永崇「〈書評〉大沢秀介・小山剛編『自由と安全——各国の理論と実務』」捜査研究 59 巻 2 号（2010 年 2 月）

47-49 頁

3. 棟居快行「〈LIBRARY〉『「憲法上の権利」の作法』小山剛著——ロースクール憲法が生んだ新しい理論体系」法学セミナー54 卷8号（2009年8月）143 頁
4. 大石和彦「〈書評〉小山剛著『「憲法上の権利」の作法』受験新報 59 卷7号（2009年7月）150 頁
5. 中山茂樹「〈文献紹介〉小山剛・玉井真理子編『子どもの医療と法』」年報医事法学 24 号（2009年7月）202-206 頁
6. 西原博史「〈書評〉小山剛『基本権の内容形成——立法による憲法価値の実現』（尚学社、2004年）」憲法理論研究会編『“改革の時代”と憲法〔憲法理論叢書14〕』（敬文堂、2006年10月）195-198 頁
7. 工藤達朗「〈ジュリスト書評〉小山剛著『基本権保護の法理』」ジュリスト 1158 号（1999年6月）136 頁